

【平成 22 年度 練馬ボランティア・市民活動センター事業報告】

1 コーディネート事業

(1) 市民活動相談（通年）

「ボランティアしたい」「ボランティアに応援してほしい」「NPO について知りたい」など、ボランティア・NPOに関する相談に対応した。また、ボランティアのコーディネートにとどまらない個別の相談に対して、課題の整理・解決等に向けて関係機関や団体、関係者との連携を図った。

(単位：件)

相談内容	練馬ボランティア ・市民活動センター	光が丘ボランティア ・市民活動コーナー	大泉ボランティア ・市民活動コーナー	関町ボランティア ・市民活動コーナー	総数
ボランティアしたい	438	257	264	145	1,104
ボランティアほしい	179	257	191	115	742
情報提供	571	541	484	159	2,055
協力依頼	302	179	113	59	653
その他	194	625	474	278	1,571
総数	1,689	1,859	1,526	756	5,830

(2) 相談記録データ分析

ボランティア・市民活動センター、各コーナー（光が丘・大泉・関町）の相談記録を蓄積し、事業等に役立てるために、相談記録データの分析整理を行った。

(3) ケース検討会議

センター、各コーナーに寄せられた区民の活動相談に関して、週 1 回のセンター・コーナー会議等で定期的に相談内容を把握し、確認及び情報の共有化を図るために、ケース検討会議を行った。各コーナーでは、相談援助力を高めるための会議（スーパービジョン）を月 1 回設け、ケース検討を行った。センター、各コーナーであげられる課題は様々で、それぞれの地域性が表れており、月 1 回のボランティア・市民活動センター運営委員会に状況を報告した。

2 ネットワーク事業

(1) 各種団体との連携・協力

定期的に各団体の会議に出席することで最新の情報を得るとともに、社協で把握している情報を団体等に提供し、連携を図った。

会議名	開催	内容
精神保健福祉関係者連絡会	随時	豊玉、光が丘、石神井、関保健相談所を中心とした情報交換会
地域ケア会議	随時	練馬、光が丘、大泉、石神井、関町地域を中心とした高齢者のケアについての情報交換会
ねりま子育てネットワーク	毎月	区内の子育て支援を行うグループや子育て中の親によるネットワーク
地域福祉おたすけ隊	月 1 回	光が丘・高松・旭町・土支田地区の地域福祉を考える会から継続している地域住民の会
春日町きらく会	月 1 回	春日町・田柄地区の地域福祉を考える会から継続している地域住民の会
地域福祉を考える会（石神井）	月 1 回	練馬区が実施した「地域福祉計画」策定のための地域懇談会から継続している地域住民の会
しあわせ福祉ネット・関	月 1 回	安心して暮らせるまちづくりを目的に活動する団体・個人・関係機関によるゆるやかなネットワーク
関町児童館運営委員会	月 1 回	関町地域住民の要望に沿った児童館づくりをすすめるための情報、意見交換会
日大光が丘病院小児科ボランティア連絡会	隔月	ボランティアと病院関係者との情報交換会
日大光が丘病院小児科ボランティア受入れ委員会	年 2 回	病院関係者によるボランティア受入れに関する検討会
NPO活動支援センター運営協議会	月 1 回	受託団体 4 団体の情報交換会。隔月に各地で交流会を実施

高次脳機能障害関係者連絡会	隔月	前年度に主催した地域市民講座参加者を中心とした、当事者、家族、関係機関等による情報交換会
豊玉高齢者センター運営委員会	年3回	利用者代表、関係者による協議・情報交換会
練馬区認知症支援ネットワーク協議会	年4回	認知症高齢者の支援ネットワークを協議する関係者連絡会

(2) 災害時に備えた取り組み

災害時に備えて、行政、地域団体との連携、ネットワーク強化を図るため、「練馬区震災総合訓練」および「2010年首都圏統一帰宅困難者対応訓練」に参加するとともに、「災害ボランティアセンター」運営に向けて、関係機関・団体と協議をすすめた。東日本大震災においてボランティア保険の手続きや練馬区の被災者支援に関わるボランティア希望者の登録、情報提供などを行った。

事業名	開催	内容
社会福祉協議会の災害時の取り組みについて学習会を開催	1回	他社協の取り組みから、災害時に対して日頃、社協としてどのような備えをしておくべきかを学ぶため学習会を企画し、他社協職員にも呼び掛けて情報交換をあわせて行った。
練馬区震災訓練および検討会に参加	年3回	9月5日実施の練馬区震災訓練に参加し、災害ボランティアセンター立ち上げ、運営の訓練を実施した。
首都圏統一帰宅困難者対応訓練および実行委員会	年8回	9月25日開催の首都圏統一帰宅困難者対応訓練および実施に向けての実行委員会に参加した。
練馬区福祉医療対策本部 作業部会に参加	年3回	災害発生時に想定される課題の検討、マニュアル改訂、災害時への対応体制の整備などを目的とした練馬区福祉医療対策本部作業部会に参加した。
研修への参加	年2回	東京ボランティア・市民活動センター主催の「災害ボランティア・コーディネーター養成講座」等の研修に参加。
東日本大震災に関わるボランティア活動支援	3月～	東日本大震災においてボランティア保険の手続きや練馬区の被災者支援に関わるボランティア希望者の登録、情報提供などを行った。

3 サポート事業

(1) 学校等への支援

「総合的な学習の時間」の授業を組み立てる際の企画協力、物品貸し出し、講師紹介、職員派遣、他団体紹介などを行った。また、都立高校の奉仕活動の授業におけるボランティアの説明や、活動先の紹介依頼などに対して協力した。その他、学校、企業、団体などからのボランティア活動に関する情報の問合せに対応した。

(2) 関係機関・団体への支援

練馬区防災課、青少年課、在宅支援課、保健相談所、練馬公民館（国際理解推進講座）などに職員を派遣して講義を行うなど、福祉分野に限らない様々な分野の依頼に対応した。

また、練馬区主催の「地域福祉パワーアップカレッジねりま」の1年、2年の複数の授業に職員を派遣し、地域の活動者や団体の紹介およびボランティアに関する授業を担当した。

(3) 各種助成情報の提供・紹介の受付

情報誌「ぼけっと」などを通じて、各種の助成金情報を提供した。また、ボランティアグループやNPO法人から相談があった場合には、それぞれの団体に合った助成金の情報を提供し、必要がある場合には推薦コメントの記入や申請書の記入に関してのアドバイスを行った。

・推薦1件

(4) ボランティア保険・行事保険事務について

ボランティア活動中の事故に備えて加入するボランティア保険と、施設や団体などが行事を主催する際に加入する行事保険の手続きを行った。

また、3月に保険会社の担当者を招いてボランティア保険・行事保険に関する説明会を開催した。なお、このボランティア保険等は保険者である東京都社会福祉協議会と加入事務契約を結んでいる。

ア ボランティア保険加入者数 4,897人

イ 行事保険加入件数 1,235件

4 研修事業

(1) 地域市民講座

地域の課題を共有し、主体的にその解決に関わっていくきっかけをつくることを目的に連続講座

を実施した。今年度は高次脳機能障害への理解や支援の取り組みをさらに広げるため、練馬高次脳機能障害関係者連絡会との共催で、シンポジウムおよび当事者家族や支援者との交流会を実施した。

開催	日時	講師・内容	場所	参加人数
第1回	H22.7.2 (金)	シンポジウム 「あなたもいきいき！わたしもいきいき！～高次脳機能障害者との豊かな暮らしづくりを考える～」 井上里美（独法 国立病院機構東京病院 作業療法士） 東川悦子（NPO法人 日本脳外傷友の会 理事長） 練馬区在住の当事者家族の方 練馬区在住で当事者の支援活動をしている方 相良宏司（社福 東京援護協会 東京都練馬就労支援ホーム 生活介護係長） コーディネーター：河島京美	石神井公園区民交流センター 展示室兼集会室	86人
第2回	H22.7.22 (木)	当事者家族・支援者家族との交流会	石神井公園区民交流センター 会議室2・3	19人

(2) これからボランティア説明会

「これからボランティア活動をしてみたい」「どのように活動を探したらよいのわからない」という方を対象に、基本的な概論と活動の見つけ方についての説明会を開催した。また、練馬区福祉部経営課地域福祉係との共催で、地域での活動を紹介する地域福祉入門セミナーを実施した。

日時	テーマ・ゲスト・共催など	会場	参加人数
H22.4.21 (木)	「始めることにオソイはない！セカンドライフを楽しむ秘訣～」ゲスト：山本誠治、佐藤久江	大泉ボランティア・市民活動コーナー会議室	5人
H23.2.19 (土)	「ためしてなっとく！地域の活動」地域福祉係と共催	大泉小学校体育館	130人

(3) ボランティア体験学習

宿題、課題等でボランティア体験が必要な方を対象として、実際にボランティア活動が行われている福祉施設等で体験する機会を提供した。

- ・体験参加者 10人

(4) 福祉施設・病院のためのボランティアマネジメント研修

福祉施設の職員を対象として、ボランティア受け入れについての研修を「特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会」と共催した。

日時	テーマ	講師等	会場	参加団体
H22.7.12 (月)	福祉施設・病院のためのボランティアマネジメント研修「基礎編」	後藤麻理子（日本ボランティアコーディネーター協会事務局長） 樋口実（中野区かみさぎ特別養護老人ホーム）	練馬ボランティア・市民活動センター会議室	26人

5 広報事業

(1) ねりまボランティア・市民活動情報誌「ぼけっと」の発行

ボランティア活動や市民活動に関心のある方向けに、情報誌を毎月 5,000 部発行し、図書館、出張所など区内行政関係機関窓口等 120 か所で配付した。「いんぷおめーしょん」の欄で、ボランティア募集、講座等の情報提供を行った。

(2) ねりまボランティア・市民活動情報誌「ぼけっと」窓口調査

情報誌の窓口配布状況を確認するため、ボランティアの協力を得て残部数の調査を行った。その結果を元に報告会を開催し、現状に照らして配布数の増減を決めて、効率的な配布に努めた。

調査対象号	報告会日程	会場
5月号・9月号・1月号	H22.6.18/10.15/H23.2.18	練馬ボランティア・市民活動センター会議室

(3) ボランティアセンターブログ「ぼけっとのうらがわ」での発信

情報誌「ぼけっと」では伝えきれない研修等の報告や、センター、各コーナーにおける日常の出

来事を、日記形式のウェブサイトであるブログで発信した。今年度はテーマの一つである「災害時における取り組み」の中で、区内の防災訓練や首都圏統一帰宅困難者支援訓練の様子、噴火や豪雨など各地で発生した災害の情報、災害ボランティアセンターについての情報を随時発信したほか、東日本大震災発生時には、刻々と変化する救援物資やボランティアに関する情報を発信し、多くのアクセスがあった。

・平成22年4月～平成23年3月までのアクセス件数 121,340件

6 練馬区NPO活動支援センター事業

平成18年10月1日に開設した「練馬区NPO活動支援センター」は、複数の団体で事業を運営するネットワーク形式で実施している。今年度は、練馬区地域振興課を含む4団体が担当し、練馬ボランティア・市民活動センターは相談事業、講座・イベント事業を受託した。受託した団体が連携を図るための「NPO活動支援センター運営協議会」に参加し、事業報告および情報交換や協議を行った。また、NPO同士の共通の課題を共有し、交流を深めるための交流会を年6回（うち1回は東日本大震災のため中止）実施し、毎回の運営に参加した。

(1) 相談事業

(単位：件)

対応内容	一般相談 専門相談	ボランテ ィア募集	活動先として NPOを紹介	会場利用 相談	機材利用 相談	広報掲載の 相談	相談合計
件数	144	37	124	105	78	145	633

(2) 講座・イベント開催

ボランティアグループやNPOに関する基礎研修と運営に関する実践研修を実施した。基礎研修は広く関心のある方を対象とし、実践研修はすでに活動を行っている人を対象として開催した。また、NPOで働くことを希望する人と人材を求めているNPOをつなぐイベントを開催した。

また、第1回基礎研修の内容を小冊子にして、窓口での相談時に配布できるようにした。

開催	日時	テーマ	講師	会場	参加人数
第1回 基礎	H22.4.17(土)	NPO基礎研修 ざっくりサタデー 半日 でわかる！NPO～大事 なことだけ大体わかる～	早瀬昇（日本NPOセンタ ー副代表理事）	本庁舎 1903	56人
第2回 基礎	H22.9.11(土)	NPO基礎研修 NPO法人を作りたい！ …その前に聞いておきたい ダイジな話 (シンポジウム)	進行：後藤麻理子日本ボラ ンティアコーディネーター 協会事務局長 シンポジスト：池神幸子(生 活支え合いの会あおぞら代 表)、清宮百合子(楽膳倶楽 部理事長)、伊知地哲男	本庁舎20階 交流会場	60人
第1回 実践	H22.6.28(月)	NPO実践研修 NPOが元気になる資金 集め	鶴尾雅隆（日本ファンドレ イジング協会常務理事）	光が丘区民 センター 6階会議室	26人
第2回 実践	H22.10.27(水)	NPO実践研修 NPOのためのウマイ組 織運営～あなたの団体の 健康度チェック～	坂口和隆（日本NPOセン ター事務局次長）	本庁舎20階 交流会場	23人
第3回 実践	H22.12.11(土)	NPO実践研修 NPOのための行列の できる企画とチラシの作 り方	牟田静香（男女参画おおた 理事長）	光が丘区民 センター	46人
第4回 実践	H23.1.24(月)	NPO実践研修 NPOのための成功す る！講座の作り方	小原宗一（日本ボランテ ィアコーディネーター協会研 修開発委員長）	本庁舎20階 交流会場	27人
第5回 実践	H23.2.14(月)	NPO実践研修 NPOのための会議の進 め方～明日から会議が楽 しくなる！～	青木将幸（青木将幸ファシ リテーター事務所）	本庁舎20階 交流会場	28人

第6回 実践	H22.3.4 (金)	NPO実践研修 NPOのための会議が見える！進む！メモのヒミツ	青木将幸（青木将幸ファシリテーター事務所）	本庁舎 20 階 交流会場	32 人
イベント	H22.11.27 (土)	シンポジウム NPOでオシゴト その 2 (シンポジウム) ブース相談	進行：後藤麻理子（日本ボランティアコーディネーター協会事務局長） シンポジスト：永野攝子（NPOむすび理事長）、鹿住貴之（JUON NETWORK理事長）、増田裕之（東京しごと財団しごとセンター総合相談係）	石神井庁舎5 階会議室	シンポジウム 51 人 ブース 相談 34 人

(3) NPO 活動支援センター運営協議会参加 12 回

(4) NPO 交流会参加 5回

(5) その他

ア 練馬まつり参加

イ 地区祭でのPR 光が丘、大泉、関町の各地区祭へのコーナー参加による協力

7 ボランティア・市民活動センターの運営

(1) 運営委員会

練馬ボランティア・市民活動センターの運営や、センター・各コーナーに寄せられる相談内容等についての報告・協議を行うため、定例会議を月1回開催した。

(2) スタッフ会議・コーナー担当者会議

スタッフ会議（センター、各コーナーの全職員参加）およびコーナー担当者会議（各コーナー責任者とセンター職員参加）を月1回設け、情報交換や運営等に関する協議を行った。

(3) 委員・スタッフ研修

職員の資質向上を図るため、内外の研修に参加した。外部研修 17 講座、延べ 26 人派遣。

(4) 寄付金・事業収入の活用による事業の充実

各コーナー事業等の円滑な運営を図るため、寄付金の有効活用および事業収入の確保に努めた。

ア 寄付金（ボランティア・市民活動支援センター受付分）

52 件 388,456 円

イ その他

(ア) 情報誌「ぼけっと」広告掲載料 15 件 75,000 円

(イ) 使用済み切手販売 82,906 円

8 拠点運営

(1) コーナー事業

各コーナーにおいて、社協の小地域拠点としての機能強化に努め、コーナー周辺の地域性、特性に合わせた事業を行った。

拠 点 名	事 業 名	内 容
光が丘ボランティア ・市民活動コーナー	出張ういんぐ	「障害者地域生活支援センターういんぐ」のオープンスペースを毎月第1金曜日に開催した。地域で活動するボランティアに講師を依頼し、体操や植物・野鳥観察を行った。
	施設・ボランティアグループへの支援	施設やボランティアグループの自主製品等の販売を代行した。
	光が丘地区祭への参加	地区祭に参加しコーナーのPRを行った。
大泉ボランティア ・市民活動コーナー	出張ういんぐ	「障害者地域生活支援センターういんぐ」のオープンスペースを毎月第4金曜日に開催した。「声を出そう」をテーマに歌やゲーム等で楽しく過ごす場を提供した。

	コーナーバザー	1月、8月を除く原則として毎月第1金曜日・土曜日に、コーナー会議室でバザーを行った。また、1階事務室の一角でリサイクル品や福祉施設の自主製品を販売した。
	施設・ボランティアグループへの支援	コーナーバザーや施設およびボランティアグループの自主製品等の販売を代行した。
	大泉さくらまつり	大泉さくらまつりに参加しコーナーのPRを行った。
	大泉地区祭への参加	地区祭に参加しコーナーのPRを行った。
関町ボランティア・市民活動コーナー	出張ういんぐ	「障害者地域生活支援センターういんぐ」のオープンスペースを毎月第2金曜日に開催した。ういんぐ、コーナー、ボランティアが協力して「喫茶へようこそ」をテーマに、ゆったりすごせる場を提供した。
	施設・ボランティアグループへの支援	施設やボランティアグループの自主製品等の販売を代行した。
	関地区祭への参加	地区祭に参加しコーナーのPRを行った。
	しあわせ福祉ネット・関	地域で活動する個人・団体、行政のネットワークで、赤ちゃんからお年寄りまで、顔の見える関係づくりを目指すとともに、情報交換しながら、さまざまな課題に取り組み、事務局を担った。土曜昼食会や地域住民主体の音楽祭なども開催した。
	関・立野見守りパトロール隊	「しあわせ福祉ネット・関」の活動として、「関町わんわんパトロール」(H18.4独立)と共に立ち上げた「腕章・プレート隊」を発展させて、「関・立野見守りパトロール隊」とし、ネット関参加団体、児童館、学校、PTAなどの協力を得て活動した。

(2) センター・コーナー会議

週1回、連絡調整やケース検討を行うため、拠点ごとに会議を行った。

(センター：金曜日/光が丘コーナー：水曜日/大泉コーナー：木曜日/関町コーナー：火曜日)

(3) 会議室貸出し

地域で活動する団体等に対し、活動を支援するため、会議室の無料貸し出しを行った。

拠 点 名	利用団体総数(団体)	利用者総数(人)
練馬ボランティア・市民活動センター	779	12,198
光が丘ボランティア・市民活動コーナー	527	4,809
大泉ボランティア・市民活動コーナー	324	2,805
関町ボランティア・市民活動コーナー	281	3,801
計	1,911	23,613

(4) 機材貸し出し

ア 地域で活動する団体等に対し、各拠点に備えてある機材等の利用、貸し出しを行った。

拠 点 名	貸 し 出 し 機 材
練馬ボランティア・市民活動センター	印刷機、コピー機、紙折り機、ビデオデッキ、テレビ、着ぐるみ(コアラ1体、さる1体)、白杖、書籍、各種ビデオテープ、車椅子
光が丘ボランティア・市民活動コーナー	コピー機、テレビデオ、車椅子、点字器、DVD
大泉ボランティア・市民活動コーナー	印刷機、コピー機、DVD、ビデオデッキ、ミシン、アイロン、エプロン
関町ボランティア・市民活動コーナー	コピー機

イ 車いす貸与(保有数26台)

他制度による給付や貸し出しの対象にならないが、車椅子の利用が必要な方に、低額で貸し出しを行なった。

貸出拠点	貸出数	車いす貸出し延べ台数	車椅子貸出し台数の内訳	
			個人	学校・団体等
練馬ボランティア・市民活動センター		52	50	0件
光が丘ボランティア・市民活動コーナー		33	30	3
計		85	80	3件(3台)